

## S.C.WORKS 今週のスタディ！

### 【ヘッドライン】

- 1) 「ネットグルメお取り寄せ市」
- 2) 「ルーマニア、“世界初”のファストフード税導入検討」
- 3) 「米 100%、新食感の“ごはんうどん”」

---

#### 1) 「ネットグルメお取り寄せ市」

1月21日、西武池袋本店でスタートした「Yahoo!ショッピング 人気グルメ&スイーツ！お取り寄せ市」は、朝10：00の開店と同時に多くの人が押し寄せ限定スイーツが即完売になるなど、平日の午前中にもかかわらず多くの人で賑わった。

地方の名産など今までネットでしか買えなかった一品や何週間待ち状態の人気スイーツなど、「Yahoo!ショッピング」の人気グルメ店約44店舗が“リアル”にそろった物産展で、普段ネットでしか買えない人気グルメを実際に見て買えたりイートインしたりできるのが大きな魅力。

Yahoo!ショッピング売れ筋商品ランキング「バウムクーヘン総合」で11週連続第1位になった「モンテール」（東京都）では、ファンの間で幻と呼ばれている「クリスピーバウム」が限定数のため開店と同時に完売した。

オープンから2時間で予想販売数の4分の1を完売する店もあるなど、「予想以上の来客です」と驚きを隠せない。

一方、来客者は「普段ネットはあまりしないが気になって来てみた」「（この物産展は）知らなかったけど、食べてみたくて並んでいます」との声が多く、“ネットショッピング派”より“リアル店舗派”が目立っていたようだ。

3月25日からは、「東武百貨店」（東京都・池袋）にて「楽天」のネットショッピング人気グルメを集めた「楽天市場うまいもの大会」も開催予定。“ネット×リアル”という新しいキーワードに注目が集まるかもしれない。

---

#### 2) 「ルーマニア、“世界初”のファストフード税導入検討」

ルーマニア政府はこのほど、増大する医療費の財源確保につなげるため、肥満との関連が指摘されるファストフードやスナック菓子など「不健康な食品」（保健省）への課税策を打ち出した。地元メディアによると世界初の試みで、課税対象品を扱う業者が税を払う仕組み。

議会の同意を得て3月にも導入したい意向だが、業界団体は「自由な経済活動を妨げる」と反発している。同国では1989年のチャウシェスク政権崩壊後、米国などの食文化が一気に流入。マクドナルドをはじめとする米系ファストフード産業は東欧でも有数の成長を続けている。

一方、国民の肥満率は増加傾向で、現在は4分の1が肥満とみられるという。チェケ保健相は今月、ファストフードをやり玉に挙げ「公的医療の財源不足は慢性的で、課税が必要」と強調した。ソフトドリンクやケーキ、スナック菓子なども課税対象という。

国民の健康を守るために国全体で取り組むのも1つの方法だと思うが、一番は個人の意識的なものによるのではないか。

---

### 3) 「米100%、新食感の”ごはんうどん”」

JA福岡中央会は6日、炊きたてのご飯と米粉を混ぜた新うどん「JAごはんうどん」を開発し、今月中にも発売すると発表した。米100%のうどんは珍しいという。

ごはんうどんは、輸入原料に頼るうどんを国産原料でまかなうと同時に、消費者の米離れを食い止めようとの狙いから開発が始まった。昨年、ごはんと小麦粉を混ぜた「ごはんうどん」を作ったが、めんが切れやすいなどの問題が発生。小麦粉を米粉に変えることで問題を克服し、米100%化も実現した。

価格などは未定だが、早ければ今月中に福岡市中央区のJA福岡県会館の食堂で提供する。また、米粉製造の群馬製粉（群馬県渋川市）と販売会社の新設を検討しており、東京など全国での販売も目指す。

同中央会の花元克巳会長は「何度も試作を繰り返し、ようやく讃岐うどんに近いものができた。今後も地域から新しい事業をくみ上げ、いろいろな商品を開発したい」と語った。

米を使うことによって食糧自給率のUPにもつながり、小麦アレルギーの人にとっても朗報だろう。その他の小麦製品も米で代用できれば食べられなかった人たちの食の世界が広がるのではないか。